

第7回東郷地域協議会会議録(要約)

日 時 令和3年10月11日(月) PM7:00～PM8:45

場 所 新城市役所4階会議室

出席者 委員25名 事務局4名

次第

- 1 会長あいさつ
 - 2 議事
 - (1) 地域マネージャー準備検討会の発足について
 - (2) 令和4年度地域活動交付金前年度審査について
 - 3 連絡事項
 - (1) 令和3年度地域自治区予算事業の進捗状況について
-

1 会長あいさつ

・コロナも落ち着いてきたので久しぶりに対面での会議となる。

2 議事

協議会の会議録署名

- ・定数30人のところ25人の出席があり会議は成立している。
- ・会議録署名について、会長及び署名委員を2名指名し署名をお願いした。

9月15日から10月4日まで住民意見を募集していた「令和4年度東郷地域自治区予算事業計画」については、住民の皆さんから意見はつかなかったため、前回の会議で承認された建議書を10月20日に市長に建議することになった。

- (1) 地域マネージャー準備検討会の発足について
地域マネージャー制度の概要を事務局から説明した。

○主な意見

会 長 今回の説明で分かったような分からなかったような気がする。大変ご苦勞な説明だったと思うが、要するに地域自治区制度ができて10年経つので、大体もう地域計画も完成し、大筋はでき上がったので、その計画をどうやって実行するかと。そういうことを考えたときに、ただ単に市役所に投げかけたらいいということじゃなくて、市役所が協力するけれども、地域の人もやっぱり地域自治区だから、地域の人たちがこぞって参加できるような制度を作っていきたいということだと思う。マネージャー制度っていう名前だとちょっとわかりにくいですが、あらあら理解いただけたか。特にこの点について先に質問しておきたいということがあれば挙手してほしい。いきなりだとわからないと思うので、後でグループディスカッションをやりたい。

委 員 最後の導入に向けた進め方のところになってくるが、本日検討する議題に関しては

検討会をするかどうかになると思うが、もし今年度やらないとなった場合に、来年度以降同じように検討自体ができるのかどうか。予算つくつかないは置いておいて検討するというは、どれぐらい可能なのかというところについてまず1点質問したい。2点目。今回これで検討するとなった時に一番大きいのは、予算が取れるということ。特にこの委員報償費それから講師謝礼とあるが、今回この制度というのは、新城市オリジナルの制度であるというところにおいて、先進事例や講師は何を想定しているのか。もしこれで見ると、それから聞くべき話があるのであればやはりこの報償費ではなくて謝礼に関しては必要になってくると思われる。先進事例がない中で、そういうところについてどのように考えているのか、この2点をお答えいただきたい。

事務局 今年度の検討準備予算としては3地域自治区分取っている。今の段階で約束はできないけれども、課としては来年度の検討準備予算を取っていきたいと考えている。また、もうひとつの質問である先進事例と講師は何を想定しているのかというところだが、さきほど事例は全国どこにもないということを行ったが、完全に一致してものはないと思うが、宮崎市が地域自治制度と地域計画実行組織のようなのをやっているの、東郷がどう地域マネージャーを目指すかにもよるが、検討準備会が発足するのであれば、ぜひ宮崎市について1回調べて、現地まで行くのは無理かもしれないが、例えば講師を呼んだり、Zoomで話を聞いたりなど、検討の参考にしていただければと思っている。

委員 地域マネージャーという文言自体が、地域自治制度、地方自治法、それから新城市地域自治条例には規定がない。従って、どういう根拠でこれをやるのかが大きな問題。それから、地域計画実行組織というが、地域計画は新城市の附属機関である地域協議会が案を出し、それに基づいて市が予算化をしている。そうした場合には、市が地域計画実行組織に事業として渡すには、どういう手続き方法でやるのか。それから、その他いろいろと決まっていなくてたくさんある。何がわからないのか、決まっていなくて、それをまず洗い出して、それで、市の方に投げかけて体制や後々の事務手続き方法などの回答をもらわないと。そうしないと地域マネージャー制度をやりましょうかどうしましょうかという検討はできないと思う。地方公共団体のシステムというものと、今までお聞きした中では、地域計画実行組織は、民間の団体だということ。市の組織にはならないと言われている。そうすると、大変難しい問題がたくさんある。例えば、足を考える会で、もし市と契約すると、年度内工期なので、話し合いが完了しませんでしたでは済まなくなる。年度内に片付けないと契約不履行となる。そういったことが起きてしまうということ。

委員 今言われたこともごもっともだと思うが、もう一歩前の話かなと思う。今まで地域計画を立ててきたが、正直言ってそれが実際行われるのかどうなのか、誰がやるのかということに関して、地域協議会ではそこまではいくが、そこから先が私の感覚ではすごく不安である。じゃあ誰がやるのこれ、となる。それをひよっとしたらこの地域マネージャーというものが進めてくれるかもしれないし、それ以外の何か違う組織とかそういったものをつくれれば、それがうまくいくのかもしれないし、それをそういったものがあるのかどうなのかって検討するのが、今日の話なのかかなと思っている。だから地域マネージャーありきではないと思う。せっかく良い機会なので、この計画を進める何かいい方法があるんじゃないかと探ることができるのが、今回のせっかく予算をもらって考

えるそういった組織なのかなと思っっている。確かに今おっしゃられたことも、何かわかるようで難しくて、市役所の人間じゃないし、市役所の意図に任せるのかどうなのかとかその辺のこともすべて、いろいろわからないことを出したりとかどうだっていうのが、検討する会議で出てくれば、今言われたこともいろいろ検討する場になるんじゃないかなという意味では、そういった会議をしてもいいのかなとは思っう。それをこの後グループになって話し合うということ。

委員 ひとつ確認したい。今日はその検討会を立ち上げるかどうかの話ということで、もしこの検討会を立ち上げないという場合は、もう地域マネージャーをやらないという結論となるのか。ずっと検討会をやるとかやらんとかの話ばかりで、行き着く先がどこなのかが私はちょっと見えてない。

事務局 今決めていただきたいのは、今年度検討会を開くかどうかということ。ただ、タイミングとかもあるので、例えば今年度開かないからといって、地域マネージャーの検討を今後一切しないのかと言ったら違うと思っう。あくまでも今検討するかどうか。もし、今検討しないにしても来年度に持ち越すという判断もできると思っう。

委員 今年検討する地域マネージャーは、いつから地域マネージャーとして加わってもらふことになるのか。もしやりましようってなった時だが。

事務局 例えばかなり順調にいったとしたら、来年度からということになるかもしれないし、当然予算という課題もあるが。ただ、そんなすぐに決まるものではないと思っうので、例えば、今年検討を始めると残りもうあと数ヶ月しかないということもあるので、引き続き来年度もそのまま継続で検討して、その次の年度からしっかり準備して地域マネージャーの予算をしっかり取ろうとか、こういう人物像でということと地域協議会で人選したりしながら、地域の合意形成にも時間がかかると思っうので、すぐにではなく長い目で見たほうがいいかなとは思っっている。

委員 ということはこの準備検討会も長引く可能性もあるということ。

会長 地域マネージャーの話し合いというよりも、地域計画をどうやって実行したらいいんだということを検討してほしい。

4つのグループに分かれ検討を行った。一定時間経過後、各グループから話し合ったことの共有がされた。

グループ①

このグループでは早々に結論が出た。やるべきだと、そういった考える機会は持つべきじゃないかとなった。そういう機会があれば一度検討してみる価値があるんじゃないかなとなった。

グループ②

このグループは委員一年生ばかりだったので、何を言っていいかわからない、選ぶ選ばんもわからない。ということでわからんということが総意だった。分からないということが分かった。

グループ③

ここのチームでは検討していくべきという結論になった。何にするにしても検討しないと何も決まっていかないしよく分からないので、しっかり検討会を作って検討して、それで是々非々でしっかりと

考えて決めていくという結論となった。

グループ④

私たちのチームは、検討会発足は時期尚早であるということで決まった。

【決定事項】

全体での決議の結果、賛成 14 名、反対 9 名であったため、「地域マネージャー検討準備会を発足していく」ことが決定された。検討会の人選については、地域協議会委員で参加を希望するかの意見を聞いたが、決定はされなかったので、希望がある方は事務局まで申し出ることとなった。

(主な意見)

委員 検討会の人選については、地域協議会委員だけではなく、外部の方も入れたほうが多様な検討が可能となるのではないかと。

(2) 令和 4 年度地域活動交付金前年度審査について

地域活動団体から 4 月から財政的な裏付けをもって活動できるようにしてほしいという意見があり、地域活動交付金の審査を前年度審査に切り替えるということに関し、事務局から説明があった。

【決定事項】

委員の賛成多数により、令和 4 年度地域活動交付金の審査を前倒しで前年度中に行う「前年度審査」に切り替えることとなった。次回の会議で、交付金の募集要項や審査基準等を決定する。今年度の審査に引き続き、現交付金分科会委員が対応していく。

3 連絡・報告事項

(1) 令和 3 年度地域自治区予算事業の進捗状況について

・地域交通検討事業

前回の会議で委員からもらった地域へ行くアンケートについて、地域の足を考える会で協議しアンケートに反映した。11月頃に、小中高の家庭にアンケートを実施する予定。

・地域防災連携促進事業

11月28日(日)に開催予定の東郷防災ミーティングの参加依頼を行った。

【次回会議】

日時: 令和 3 年 11 月 8 日(月) 19 時から

形式: 対面会議 (※コロナの状況によってはオンライン会議に切り替える)

場所: 市役所 4 階会議室

議事: 令和 4 年度地域活動交付金募集要項及び審査基準について 他

【20:45 終了】